

用語集

| 用語 | 説明 |
|----------|--|
| 大阪市域交通圏 | <p>道路運送法において、一般旅客自動車運送業者は発地及び着地のいずれもがその営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない、と定められています。</p> <p>この一般旅客自動車運送業者はタクシーを指します。また、営業区域は大阪府下で7つの地域に分けられており、そのうちの1つである大阪市域交通圏に含まれる地域は、大阪市・堺市・東大阪市・八尾市・守口市・門真市・吹田市・豊中市の8市です。</p> |
| 可住地面積 | <p>総面積から、林野面積と主要湖沼面積を差し引いた面積を指します。</p> |
| 居住誘導区域 | <p>東大阪市立地適正化計画の中で、人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域と定義付けられています。</p> <p>東大阪市では居住を誘導することで不都合が生じる地域（①新たな住工混在が発生する可能性がある地域、②住民の生命に危険が生ずる恐れがあると認められる地域、③他の施策によって住宅の立地が制限されている地域）以外の地域を居住誘導区域と定めています。</p> |
| 公共交通 | <p>不特定多数の人が利用できる交通機関を指します。東大阪市では、鉄軌道・バス・タクシーを指します。</p> |
| 国土軸 | <p>日本経済を支える太平洋ベルトと東京を通る一本の軸を指します。現在、国では国土の均衡的な発展や災害時のリスク分散等の考えから、新たな国土軸を設定していく方針を示しています。</p> |
| 混雑度 | <p>国土交通省により定期的に行われる道路交通センサスで算出される道路の混み具合の指標です。計算方法は交通量/交通容量であり、1.0を超えると交通容量以上の交通量であることがわかります。</p> |
| コンパクトシティ | <p>今後、より深刻化する人口減少や少子高齢化に対応するため、限られた自然資源や人的資源の中でも効率的に公共サービスが提供できるよう都市機能を集約したまちを指します。</p> |
| 市街化区域 | <p>都市計画法において、無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため、市街化を進める地域を市街化区域、市街化を抑制する区域を市街化調整区域とし都市計画に定めることができるとの記載があります。東大阪市は、災害が発生する可能性がある生駒山麓付近と、優良な農地のある池島地域の一部のみ市街化調整区域であり、市域のほとんどが市街化区域に定められています。</p> |
| SWOT分析 | <p>SWOTとは、英語のStrength（強み）、Weakness（弱み）、Opportunity（機会）、Threat（脅威）のそれぞれの頭文字からきています。戦略、計画を立てる際の状況の把握を行うための手法です。</p> |
| 生産年齢人口 | <p>働く意思や能力の有無に関わらず、この年齢を満たせば労働に従事できる、という人の人口を指します。日本では主に15歳から65歳未満の人口を指します。</p> |
| 総合計画 | <p>市町村の全ての施策を進める上での指針となる計画です。自治体の将来の展望に基づいて立てられる自治体運営の最高理念である基本構想、基本理念の部門別・地域別に立てられる基本計画、具体的な実施に向け立てられる実施計画で構成されます。</p> |

| 用語 | 説明 |
|-------------|--|
| ソフト施策 | ソフトとは意識や情報等無形の要素を指します。ソフト施策とは、ある課題に対する無形の要素を対象にした施策を指します。 例：道路交通の安全性が低いという課題に対し、交通安全講習を行い市民の意識向上を図る。 |
| 端末交通手段 | 一回のトリップで複数の交通手段を用いた場合、その際の主な交通手段を代表交通手段といい、その代表交通手段を用いるために使用したその他の交通手段を端末交通手段と言います。 |
| 特定経路 | 鉄道駅等の特定旅客施設と周辺の主要施設を結ぶ移動経路のうち、特に重点的にバリアフリー化を図るべき移動経路を指します。 |
| 都市機能誘導区域 | 原則、居住誘導区域内に設定され、医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し、集約することにより、これら各種サービスの効率的な提供が図られるように定めた区域です。東大阪市では、駅からの徒歩圏800m内を基本とし、商業系用途地域や子育て支援施設、リージョンセンター等を含むよう設定しています。 |
| 都市計画マスタープラン | 都市づくりを具体的に進めていくための基本的な方針を指します。各市町村が、住民の意見を反映させつつ、都市の現在の状況や将来の変化を考慮し定めます。 |
| トランジットセンター | 鉄軌道やバス等、公共交通機関の乗換えに際し、利便性を向上させる施設であり、昇降施設（階段、ES、EV）とバス券売所、待合所が一体となった施設を指します。 |
| トリップ | ある目的（例えば、出勤や買物など）をもって起点から終点へ移動する際の、一方向の移動を表す概念であり、同時にその移動を定量的に表現する際の単位を指します。 |
| ハード施策 | ハードとは建築物等の有形の要素を指します。ハード施策とは、ある課題に対する有形の要素を対象にした施策を指します。 |
| ミッシングリンク | 鉄道や道路が分断され、連続性に欠けていることを指します。 |
| モータリゼーション | 自動車利用が一般に広く普及することを指します。 |
| 流通業務市街地 | 流通業務施設（トラックターミナル、流通倉庫、配送センター等）を集約的に立地することにより、流通をスムーズに行うことを目的として作られた市街地を指します。 |
| 連続立体交差事業 | 踏切事故、交通渋滞、市街地の分断を解消するために、地上を走る鉄道敷を高架化する事業です。高架下を利用できるというメリットもあります。 |

東大阪市総合交通戦略

東大阪市建設局都市整備部公共交通課

住 所：〒577-8521 大阪府東大阪市荒本北一丁目1番1号

T E L：06-4309-3216 F A X：06-4309-3831